

当院の泌尿器科に通院された患者さんの診療情報・手術組織を用いた医学研究に対するご協力をお願い

このたび筑波大学附属病院腎泌尿器外科では、病気で困っている患者さんの診断法、治療法を向上させるため、下記の医学研究を倫理委員会の承認ならびに付属病院長の許可のもと、倫理指針および法令に従って実施いたしますのでご協力をお願いいたします。

研究を行うにあたって、患者さんへの新たな負担はございません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。もしも、下記の研究内容に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報が用いられることにご質問などのある方やご同意をいただけない方は、下記の連絡先にご連絡ください。

1. 研究課題名 泌尿器癌における免疫環境の解明と臨床的意義に関する研究

2. 対象患者

西暦2016年9月より2019年2月28日までの間に筑波大学附属病院泌尿器科にて、がんの診断で通院し、「試料・情報提供についての同意書」に同意くださった方

3. 研究の目的、方法

《研究の概要と目的》

本研究の主な対象である、膀胱がん、腎盂尿管がん、腎がんなどの泌尿器がんでは、手術療法・抗がん剤・放射線療法の3大治療に続く第4の治療としてがん免疫療法が期待されています。しかし、様々な免疫細胞やそれらが作り出す物質が、がんに対してどのように働いているか、効果とどのように関連しているかの詳細に関しては分かっていません。この研究において、がん患者さん個々のゲノム異常と免疫状態との関係性を解析し、将来的にはどういったゲノム異常・免疫状態の方が、手術療法・抗がん剤・放射線療法・免疫療法をどのように選択し組み合わせることが、最も有用であるかを明らかにし、さらに新しい治療方法の開発につながることを目的としています。

《研究の方法》

本研究は、普段の診療の中で採取された手術標本もしくは生検組織、血液などの残余検体を用いて、免疫担当細胞や免疫担当因子の遺伝子解析及び細胞生物学的解析を行います。試料の測定は国立がん研究センター研究所で行います。

※本研究で得られた遺伝子解析の結果は開示されません(結果の解釈が難しく、患者さんの利益になる情報が得られないためです)。

※本研究で得られた遺伝子情報は配慮すべき個人情報に該当します。ただし、本研究においては、遺伝子情報からただちに個人を特定できない体制をとっております。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、病理診断結果 等

試料：腎癌、尿路上皮癌（膀胱がん、腎盂尿管がん）の手術、生検の残余組織

5. 研究組織

研究責任者（事務局）

筑波大学医学医療系臨床医学域腎泌尿器外科学 講師 小島崇宏

解析担当責任者

国立がん研究センター研究所 腫瘍免疫研究分野 先端医療開発センター

免疫 TR 分野 分野長 西川博嘉

6. 本研究に関する連絡先

この研究でわからないことや心配なことがありましたら、いつでも担当医師または以下の問い合わせ先（相談窓口）におたずね下さい。

【問い合わせ先】

筑波大学附属病院 腎泌尿器外科 研究事務局 松岡妙子・小島崇宏

TEL 029-853-3223（平日、午前9時から午後3時まで）